

母子生活支援施設 ちぐさ

昭和22年、戦後の混乱期に恩賜財団同胞援護会高知支部の経営により高知県最初の母子寮として、相生町に「千草母子寮」（定員5世帯）を開設した。

その後、経営組織改組により社会福祉法人高知県福祉事業財団を設立し今日に至り、平成9年児童福祉法の改正により「母子生活支援施設ちぐさ」と名称の変更も行った。

平成10年には現在地に移転新築し、母と子が一緒に生活できる唯一の児童福祉施設として、広く県内外から母子を受け入れてきた。

百石町に移転以来令和4年3月末までに198世帯が入所し、178世帯が自立している。これからも母子の権利擁護に努め、自立に向けた支援に努めていく。

◎令和3年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

(1) 母と子の権利と尊厳の擁護

母と子が一緒に生活できるという特徴を持った唯一の施設として「ちぐさ理念」に掲げ、それぞれの生活課題に向き合い、安全な居場所の提供と自立に向けた考えを尊重しその歩みをともした。

(2) 利用者の意向を意識しつつ目標設定を行い、切れ目のない支援の展開

年度当初に22世帯の支援計画書を作成し、毎月2回の職員会でその課題を共有し、随時見直しながら対応に努めた。

(3) ハローワーク等就労支援機関と連携し、経済的自立への道筋をつける。

延べ求職者は6名で、求人情報の提供やハローワークへの同行支援（3名）を行い、3名が就職に至った。

(4) 子供の育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行う。

延べ53名の幼児の預かり保育を実施した（コロナ感染拡大により、保育は極力母親で完結することとしたため預かり保育数は令和2年度以降減少している）。

(5) 母親に対して基本的な生活習慣の支援

育児はもとより掃除、食事、入浴に関して未熟な母親が多く、その都度職員が部屋に入り、手伝い・助言を行った。

(6) DV被害からの回避・回復のため、広域利用や一時保護委託の受入を行う。

令和3年度は3世帯の広域利用（県・市外）があった。また平成19年度から高知県女性相談支援センターと一時保護委託契約を結んでおり、1世帯を22日間受け入れた。

(7) 地域ニーズに対応するため、ショートステイ・トワイライトステイを実施する。

問い合わせ等はあったものの、令和3年度は受け入れがなかった。

(8) 防災・減災対策の実施

原則として、毎月1回避難訓練を実施。3月には、防災訓練として高知市防災対策部から講師を招き、南海トラフ地震における被害想定等に関する講義を受けるとともに、火災訓練として、避難訓練及び消火器の操作訓練を行った。新型コロナウイルス感染予防のため、例年実施している消防署員による消火訓練、非常食の試食会等は中止とした。

(9) 職員の資質と施設運営の向上

新型コロナ感染対策のため、昨年度に引き続き集合研修は中止が多く、開催される場合でもオンラインによる研修が大半となったが、関係機関の主催する各種研修等に参加し、それぞれのスキルアップに努めた（15回のべ19名）。

また、「中国・四国ブロック母子生活支援施設研修会」は本県母子生活支援施設協議会が事務局となり、50名の参加を得てオンラインにより実施した。

(10) 特定妊婦の積極的な受け入れ

県からの要請により1名の特定妊婦が入所となった。本人の希望により、出産3週間後の入所となったが、入所後は保健所等との連携を図りながら母子の支援に努めた。

◆年度別入所者数・職員数

各年度3月31日現在

年 度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
定数（暫定）	27世帯	27世帯 (26)	27世帯 (22)	27世帯 (22)	27世帯 (24)
入所世帯数	15世帯	17世帯	22世帯	22世帯	22世帯
入所人数	38名	43名	55名	55名	53名
職員数	10名	10名	10名	11名	12名

※職員数：契約職員及びパート職員を含む

◆令和3年度 月別世帯数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	22	21	21	21	23	24	23	23	23	24	24	23
入所	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	0
退所	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1

◆令和4年3月31日現在の入所世帯状況（定員27世帯 暫定24世帯）

入	入所者数	22世帯53名（内児童数31名）				
所	市内・県内外別世帯数	高知市内 ⇒ 7		県内市町村 ⇒ 14		県外 ⇒ 1
世	主たる入所理由	DV ⇒ 5		住居の確保 ⇒ 5		養育支援 ⇒ 12

帯 の 状 況	在所要年数	5年以上／7	3～5年／3	1～3年／9	1年未満／3	
	就労者の状況	常雇 4名		パート 6名	無職 12名	
	母親の年齢構成	10代/1名	20代/4名	30代/10名	40代/5名	50代/2名
	子どもの年齢構成	乳幼児 10名	小学 10名	中学 7名	高校 4名	大学 0名

◆令和3年度の入所者の状況

世帯	職業	入所理由	措置元	世帯構成
1	無職	離婚により住居なし	市内	2名
2	無職	DVにより県外から転入	県外	4名
3	無職	DV及び夫の子への虐待により市外から転入	市外	4名
4	無職	DVにより市外から転入	市外	3名
5	無職	特定妊婦。出産後の就労を求め市外から転入	市外	2名
6	農業	夫の子への虐待により市外から転入	市外	4名

◆令和3年度退所者の状況

世帯	職業	退所理由	在所要年数	世帯構成
1	店員	措置元の方針により市内へ転出	6年2か月	2名
2	無職	子の通学のため市外に転出	1か月	3名
3	無職	夫からの接触を回避するため市外に転出	2年3か月	3名
4	無職	子の通学のため市外に転出	2か月	4名
5	農業	入所前住居から夫が転出したため前住居に転出	2か月	4名
6	介護	措置元の方針により市内へ転出	2年1か月	3名

◆各種研修会等への参加状況（15回／のべ19名）

- 講師等養成研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名
- 施設心理職員合同研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 高知県福祉事業財団事例研修会 2回・・・・・・・・・・・・ 2名
- 母子生活支援施設指導者研修・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 第64回全国母子生活支援施設研究大会・・・・・・・・・・・・ 1名
- 虐待の世代間伝達を断つために私たちができること・・・・ 1名
- 社会のための心理学シリーズ「がん医療への心理学的貢献」1名
- 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会・・・・・・・・・・・・ 1名
- 福祉職場の中堅職員ファーストステップ研修・・・・・・・・・・・・ 1名
- 高知市子育て支援研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名

- 令和3年度社会福祉法人会計実務者決算講座・・・・・・・・ 1名
- DV加害者プログラム体験ワークショップ・・・・・・・・ 1名
- ファミリーソーシャルワーク研修会・・・・・・・・ 1名
- 第39回中国・四国ブロック母子生活支援施設研修会・・ 3名

◆主な年間行事

新型コロナウイルス感染症の影響により、入所者及び職員の行動が著しく制限され、多くの行事の縮小・中止を余儀なくされたが、感染防止の徹底を行いながら以下の行事を実施した。

- 4月 母親健康診断（1回目）
- 5月 お母さんと遊ぼう
こいのぼり昼食会
ベリーダンスエクササイズ
- 7月 浴衣着付け教室
- 8月 親子行事（乳児、幼児向け）
学童レク活動（実習生主催）
- 10月 母親健康診断（2回目）
- 11月 みかん狩り
親子行事
- 12月 クリスマス会
餅つき
- 2月 節分・豆まき